

ふむふむ...



なるほど~

### 福祉について学んだこと

愛知県立古知野高等学校 二年 荻野 有菜

私は将来、医療系の仕事に関わりを持ちたいと思い、福祉科に入り勉強してきました。そして、障害者の作業所で四日間、通所施設で五日間、介護老人保健施設で十日間の実習をしてみました。どの実習も初めての経験や大変さ、様々な事について学びました。合計して一九日間の実習で技術や利用者様に対しての接し方についてたくさん事を学び、良い勉強になりました。

障害者施設では、福祉について学び、初めての实習だったので、戸惑い、焦り、不安がとても大きく大変でした。障害を持った方とは、町で見かける時でしか会わず、直接コミュニケーションや関わる事も初めてでした。直接関わっていく中で私が一番難しく、大変だった事がコミュニケーションでした。私は元々人見知りで上手く自分から話しかけられませんでした。さらにほとんどの方が話をされない方が多く、どうコミュニケーションをとれば良いのか分からず戸惑ってしまいました。しかし、話をされなくて一人になってしまっても無言だと雰囲気が悪くなり、不安な思いをさせてしまうので、日常的な事から声かけをしていくと良いと職員の方から教わりました。

「今日は天気が良いですね。」  
「お昼ご飯、美味しかったですね。」  
などの声かけをする事で、安心感を与えられる事を学びました。

障害者の方と直接関わる事で、才能や技能など、得意不得意が分かり障害者の方に対しての偏見がなくなりました。また、授業で習った事と実習先では全く違い直接経験する事で、コミュニケーションの難しさ、障害者の方が持っている個性、支援方法などを学ぶ事ができました。

通所施設では、利用者様との関わりがとても多く、主にコミュニケーションが中心でした。今回の実習でも苦労したのが、利用者様との円滑なコミュニケーションでした。日常的な事から声かけを始める事ができても、上手く会話をつなげる事ができずに、最初の頃は職員の方に手伝って頂きながらしかできませんでした。そこで職員の方から適切なアドバイスを頂きました。会話の「たちつとと」を使うと話しやすいと教えて頂きました。「た」は食べ物、「ち」は地域、「つ」は通勤、「と」は天気、「と」は友達についての話題を話す事で上手く会話が続くと知り、実際に行ってみると、どんな会話の一つの話題から広がっていき、不安だったコミュニケーションも、円滑にできていました。また、一人の方だけでなく、様々な利用者様に話しかける事もでき、充実した実習になりました。通所施設では、コミュニケーションについて深く学びました。

介護老人保健施設での実習では、介護技術、多職種連携について学びました。初めて今回、排泄や入浴、移乗や食事の介助をやらせて頂いて、なかなか上手くいかずに困ってしまい、何度か手伝って頂く場面が多くありました。見学と実践だと全く違い、ちょっとした力じゃ足りず、腰を低くし力を入れる事の大切さや、動作を覚えていても、なかなか手

順通りにいかずに一つの介助を行うだけでかなり時間が掛かってしまいました。特に一番苦手なのが、介助を行いながらの声かけでした。動作と声かけを同時に行う事に混乱してしまい、声かけが疎かになってしまいました。介護技術の習得はとても難しく、簡単な事ではないので、今後の実習ではもう少し成長した介助が行えるようにしていきたいです。

実習を通して学んだ事はたくさんあります。授業では学べない事も多く勉強でき、良い経験にもなりました。直接、障害者の方や高齢者の方と関わる事で特徴や個性、接し方などを理解でき、疾病や障害について、今後はもう少し深く学び、寄り添えるようにしていきたいです。また、実際に職員の方にコミュニケーションをとる事が一番大切と教えて頂きました。コミュニケーションを行う事で、その方の生活習慣を知る事ができ、そこから適切な支援ができるようになりました。今後の実習では、自分の苦手な部分を中心に頑張りつつ、信頼関係を築けるようにしていきたいです。(原文のとおり)

二人とも施設の体験や介護実習を通して、ふだんの生活では気付かない視点から学んだことが詰まっている作文じゃの。  
今後も江南市社協では、福祉教育やボランティア活動を推進していくのじゃ。





# 社協掲示板

申込・問合せ先：江南市社会福祉協議会

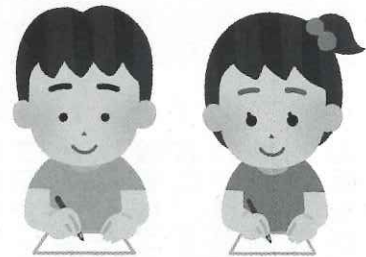
TEL・FAX：55-5262

下記の案内については、江南市社会福祉協議会まで直接お申込みください

## 参加者募集 点訳講習会を開催します！

みなさん、点訳活動を知っていますか？「点訳」とは新聞や本など、私たちが普段読んでいる活字を点字にすることです。点字のことについて視覚障がい者の方を講師に「たまづさ会」がサポートします。一緒に学んでみませんか。

日程	①5月20日(水) ②5月27日(水) ③6月3日(水) ④6月10日(水) ⑤6月17日(水) 全5回
時間	午後1時15分から午後2時45分
場所	地域交流スペースみらい(老人福祉センター内)
定員	10名(先着順)
参加費	1,540円(テキスト代)
持ち物	筆記用具
実施主体	点訳ボランティアたまづさ会
申込受付	4月1日(水)午前10時から受付
問合せ先	江南市社会福祉協議会



## 参加者募集 「やまびこ」音訳講習会 新人養成講習受講者募集のお知らせ

音訳ボランティア「やまびこ」は、「広報こうなん」と「社協だより」をテープやCDに録音し、視覚障がいの方々にお届けする活動をしています。この講座では「広報こうなん」と「社協だより」の情報をわかりやすく正確に伝えるために、聞きやすい発音やアクセント、音訳表現の方法などを学習します。(音訳とは?)を学んで私たちと共に活動してみませんか。初心者や興味のある方の参加をお待ちしています。

日程	①7月7日(火) ②7月14日(火) ③7月21日(火) 全3回
時間	午前10時から正午
場所	老人福祉センター
講師	坂森 順 氏(音訳アドバイザー)
定員	10名(先着順)
参加費	無料
申込受付	4月1日(水)午前10時から受付
問合せ先	江南市社会福祉協議会



## お知らせ ボランティア紹介・相談を実施しています

ボランティア活動をしたい方、必要としている方、関心のある方など、お気軽にご相談ください。

日程	毎週月曜日から金曜日 午前9時から午後5時まで
場所	老人福祉センター
内容	ボランティア活動をしたい、ボランティアの情報がほしいなど 土、日、祝については、メールにて相談を受付します。
その他	(メール info@konan-shakyo.or.jp) 担当者が不在の場合もありますので、事前に連絡しておくことをお勧めしています。 (担当:伊藤・鈴木・小森)



## お知らせ 弁護士による無料法律相談(予約制)を実施しています

高齢者や障がいのある方、又はそのご家族の方を対象として、日常生活の中で起こる法律に関わる事柄や権利擁護に関する内容などについて、弁護士が無料で相談に応じます。(※無料の相談はお一人2回まで)

日程	毎月1回 4月17日(金)、5月15日(金) ※いずれも、午後1時30分から4時30分まで(要予約) ※相談時間は一人おおよそ30分とさせていただきます	相談料	無料
場所	老人福祉センター	締切日	各開催日の8日前
対象者	・市内在住の高齢(概ね65歳以上)の方 ・心身に障がいのある方 ・上記のご家族、福祉関係者	予約方法	江南市社会福祉協議会(担当:宮本・河尻)へ 電話で予約をしてください TEL:81-8577 (月から金 午前9時から午後5時まで) ※申込み多数の場合は、日程調整をさせていただきます
相談内容	財産管理、成年後見制度、遺言・相続、虐待や財産侵害、債務整理など		

## お知らせ 地域交流スペース「みらい」利用のご案内

江南市社会福祉協議会では、老人福祉センターにて地域福祉の推進のために、地域交流スペース「みらい」を運営しています。下記の利用目的・条件を守りご利用ください。

利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象にした講座、ワークショップ、居場所活動(サロン)など</li> <li>・本会及びボランティアセンターによる地域福祉の推進を図る活動など</li> </ul> ※会場が利用されていない時間は、ボランティア及び地域活動の情報周知の場として、個人でも自由に利用することが出来ます(飲食可)。 ただし、団体が予約の上利用している場合は、そちらが優先されます。
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の推進のために、交流を深めるものであること</li> <li>・市及び本会広報紙に掲載など、地域において活動の周知をしていること</li> <li>・会議、定例会などの利用団体の定期的な利用で無いこと</li> <li>・利用目的が営利を目的とするものではないこと</li> </ul>
利用申請	利用しようとする日の3か月前から1か月前までに、利用申請書を社協事務局に提出してください。 ※利用申請書は社協事務局にてお渡ししています。 ※利用目的や条件などにより、利用をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。
利用料金	無料
利用時間	午前9時から午後5時まで、1時間単位で利用可能 (※第3金曜日、年末年始を除く)
問合せ先	ご不明な点や確認したい点については、江南市社会福祉協議会までお問い合わせください。



台形のテーブル8脚、イス20脚完備

## お知らせ (株)セブン-イレブン・ジャパン様より 物品の寄贈をいただきました

愛知県、愛知県社会福祉協議会、株式会社セブン-イレブン・ジャパンによる「商品寄贈による社会福祉貢献活動 寄贈品に関する協定」に基づき、3月2日(月)に、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様から、江南市社会福祉協議会に商品の寄贈がありました。

寄贈された商品は、食品や日用品などで、段ボール箱3箱分です。商品については、社会福祉に関する団体や事業所に対して、配付させていただきます。





# 令和元年度 赤い羽根共同募金実績速報値 —地域の福祉、みんなで参加—

みなさまからお寄せいただいた寄付金は、地域福祉活動や草の根のボランティア活動などのために活用させていただきます。(令和2年2月末現在)

区 分	目 標 額	実 績 額	比 率
一般募金	15,000,000円	12,689,296円	84.59%
歳末たすけあい募金	4,000,000円	3,477,426円	86.93%
合 計	19,000,000円	16,166,722円	85.08%

区 分	一 般 募 金	歳末たすけあい募金	合 計	
募金方法別内訳	戸別募金	11,213,644円	3,162,785円	14,376,429円
	街頭募金	180,110円	269,100円	449,210円
	法人募金	807,000円	—	807,000円
	職域募金	180,474円	—	180,474円
	学校募金	220,352円	12,866円	233,218円
	その他の募金	87,716円	32,675円	120,391円

ご協力ありがとうございました



## お礼申し上げます

市民のみなさまから多くの善意が寄せられています。厚くお礼申し上げますとともに、令和2年2月29日までのご寄付を報告します。(敬称略)

### ◆ 寄付者 ◆

江南市女性連絡協議会	20,000円
不老会	1,000円
匿名	1,000円
<b>計</b>	<b>22,000円</b>

### ◆ 物品寄付者 ◆

匿名	テレビ1台
匿名	コーヒーメーカー1台



江南市社協では、みなさまにより身近な社協だよりを目指して日々編集しています。社協だよりに関するみなさまからのご意見・ご感想をお待ちしております。

### 問題

今号3ページでご案内したボランティア保険は、ボランティア〇〇保険とボランティア行事用保険の2種類です。〇〇には何が入るでしょう？

- ①活用 ②活動 ③活気

▶ 応募方法 官製はがきに、①クイズの答え ②氏名 ③住所 ④性別 ⑤年齢 ⑥社協だよりへのご意見、ご感想 もしくは、福祉に関する地域の気になるニュースや活動をお書き添えの上、下記までお送りください。

- ▶ 賞 品 500円分の図書カード
- ▶ 締 切 令和2年4月30日(当日消印有効)
- ▶ 応募先 〒483-8279 江南市古知野町宮裏121(老人福祉センター内) 江南市社会福祉協議会

▶ 当選発表 厳正なる抽選のうえ、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

## 江南市社会福祉協議会

住 所 〒483-8279 江南市古知野町宮裏121  
ホームページ <http://www.konan-shakyo.or.jp>

●江南市社会福祉協議会 (地域福祉全般に関すること)	
●ボランティアセンター (ボランティアに関すること)	TEL(0587)55-5262 FAX(0587)55-5262
●江南市共同募金委員会 (共同募金に関すること)	
●障害者相談支援センター (障がいに関する相談窓口)	TEL(0587)81-8577
●江南市成年後見センター (権利擁護、成年後見に関する相談窓口)	FAX(0587)55-5262

●生活困窮者自立支援窓口 (経済的な理由等で生活にお困りの方の相談窓口)	TEL(0587)53-8851 FAX(0587)59-8546
●指定居宅介護支援事業所 (介護保険、ケアプランに関すること)	
●指定訪問介護事業所 (ホームヘルパーに関すること)	TEL(0587)59-8545 FAX(0587)59-8546
●江南市老人福祉センター (部屋の予約など、施設に関すること)	TEL(0587)54-9300

【アクセス】 名鉄電車「江南駅」下車徒歩15分  
名鉄バス「愛栄通」下車徒歩3分

